

市民文芸

短歌

令和元年
阿南市春季短歌誌上大会選

- 佳作 岡久 利永
双手挙げ吾の腕の中に走り来た二歳の孫とこ
いのぼり見上げる
- 佳作 近藤 久子
新野に母校なくてもキラキラと集いて学べ光
高校
- 佳作 打樋 光子
田植機の朝のエンジン陽に響く交響曲を奏で
るがごと
- 佳作 林 ヤス子
三日月が風呂の窓より笑つてる吾も笑顔であ
すもあおうね
- 佳作 荒瀬左知子
万葉の梅の香清し令和なる新元号は穏やかで
あれ
- 佳作 中山 芳子
うんうんと頷きながらあたたためてくれたみそ
汁励ましの湯気
- 佳作 森田 道子
変形の手もて作りし姑の忌のだんごの丸くな
らぬを二度揉む
- 佳作 臣永 悦子
プランターに育つレタスに水を遣る朝の務め
の一つ守りて

俳句

阿南市俳句連合会選

- 彼の空の君に満月登るらん
土肥つや子
- 山里も墨絵の如し月明かり
繁木 良子
- 身ほとりのひとつひとつや秋に入る
谷中喜代子
- チャン付けで飛び交う車窓天高し
田上 隆敏
- 稲架掛の香り運び来棚田風
中富はるか
- 病窓の寢息の向こうチチロ鳴く
西改 幸
- 夜明け前鹿の声こそあらあらし
萩原 陽子
- 杭の影沼面にいくつかいつぶり
小西 晴美
- 色鳥や沖の旭を招き寄せ
奥田 蒼朗
- 夜なべの灯パツク詰めする作業小屋
横井 知昭

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

- 人生のシナリオ今も直す癖
橋本 征介

愛告げる私あなたに首つたけ
胸躍る晴れたらいいね初デート
君の名もまだ知らぬまま片思い
持つて出た傘はどこかで待ちぼうけ
まだ少し若さが残る鏡見る

多田紀久代
西田 修身
渡邊 浪漫
佐藤つたえ
原 公美子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

- 一般応募
老うごとに駆け足で来る歳を追う
五時までは一つおまけについ釣られ
憧れは美魔女チャレンジフルコース
- 島尾美津子
武田 敏子
仁井 信子
- 椿泊に森家墓所を尋ぬ
蜂氏水軍盤據痕
漁撈海運盛殷村
尋來瑩域森閑裏
終古安眠累祖魂
- 蜂氏 水軍 盤據の痕
漁撈 海運 盛殷の村
尋ね来たる瑩域 森閑の裏
終古 安らかに眠る 累祖の魂
- 松原 伸夫
- 月下詩
初秋迎友墨翰筵
良夜清寒斷俗縁
鬪句推敲詩就處
金風靜度月嬋娟
- 初秋友を迎えて 墨翰の筵
良夜の清寒 俗縁を断つ
鬪句推敲 詩就る処
金風静かに度つて 月嬋娟
- 井関喜久子
- 晩秋偶成
寒窗寒月照吟情
遙繪深秋銀漢明
披卷剪燈吾意足
夜長忘刻睡難成
- 寒窓寒月 吟情を照らし
遙かに絵く深秋 銀漢明らかなり
巻を披き灯を剪り吾意足る
夜長し 刻を忘れ睡り成り難し
- 増喜 泰典